

静岡県富士市における 「富士市総合体育館等整備・運営事業」の事業者に正式決定

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:柳井 隆博/以下、当社)は、静岡県富士市が公募型プロポーザル方式で実施した、PFI 事業「富士市総合体育館等整備・運営事業」(以下、本事業)において、コンソーシアム(以下、当コンソーシアム)の代表企業として、2021年11月19日に約99.4億円で優先交渉権を獲得し、2022年2月22日付で、当コンソーシアムが設立した特別目的会社「みんなのふじ株式会社」と富士市との間で正式に事業契約を締結したことをお知らせします。

みんなのふじ株式会社は、2022年4月に当該施設の設計・建設などに着手し、2025年4月1日から総合体育館の供用を開始、その後、15年間にわたり、富士総合運動公園内の既存施設(陸上競技場、野球場、テニスコートなど)とともに同体育館の運営・維持管理を行います。

富士市では、2016年10月より、耐震強度不足のため、富士総合運動公園体育館の利用を中止しています。そこで、同市においては、災害に強く、各種競技大会やスポーツ教室などが実施可能で、市民スポーツの推進を図ることのできる総合体育館の整備を計画してきました。

今回の総合体育館は、富士総合運動公園全体の価値を高めることが可能で、さらに、合宿を中心としたスポーツ交流・スポーツツーリズムの促進にむけた施設に位置づけられます。

当コンソーシアムの提案においては、賑わいの創出やスポーツツーリズムの推進のほか、スポーツに関心のない人々も楽しむことが可能なさまざまな取り組み、富士総合運動公園全体を視野に入れたユーザビリティやユーティリティ、さらには、富土地域材の使用および市内企業への発注などの地域貢献策が高く評価されました。

当社をはじめとするコンソーシアム構成企業5社ならびに協力企業6社は、BTO方式^{*1}に基づき、施設の設計から建設、さらには、富士総合運動公園内の既存施設も含めた運営・維持管理の各業務を担当します。当社は、代表企業として、本事業の統括管理業務をはじめ、資金ストラクチャーの構築やファイナンシャル・アドバイザー業務を担います。

なお、本事業においては、民間資金の活用により、富士市の財政負担額が約9.9%削減される見込みです^{*2}。

当社は、注力領域に「社会資本/ライフ」を掲げており、不動産ファイナンス、事業運営、社会インフラ投資を通じて、地域社会の皆さまの豊かな暮らしの実現に向けた、あらたな価値の提供を図ります。今後とも、当社は、その強みのひとつである官公庁チャネルやパートナー企業との連携、さらには、PPP および PFI のノウハウを生かし、官公庁が保有するスポーツ施設をはじめとした文化・文教施設などのさらなる付加価値向上に貢献していきます。

- *1 PFIの運営方法の一つで、Build Transfer Operateの略。
民間事業者が施設等を建設し、施設完成直後に公共施設等の管理者等に所有権を移転、民間事業者が維持・管理および運営を行う事業方式。(内閣府ウェブサイトより)
- *2 今回の財政負担額について、富士市が従来どおりの手法で実施する場合の財政負担額と比較したもの。
(2021年12月17日付富士市公表資料『富士市総合体育館等整備・運営事業審査講評』より)

■総合体育館 施設イメージ



スポーツ施設の外観



メインアリーナ



トレーニング室

■総合体育館 施設概要

総合体育館	メインアリーナ	: バスケットボールコート 3 面(2,400 m ² 以上)
	サブアリーナ	: バスケットボールコート 2 面(1,300 m ² 以上)
	多目的エリア	: 飲食スペース、その他(廊下・通路・階段など)
	トレーニングエリア	: トレーニング室、スタジオ、更衣室、器具庫
	共通・管理エリア	: 会議室、医務室など
駐車場	300 台以上(大型バス、身障者用駐車スペースは除く)	

■当コンソーシアムメンバーおよび主な役割

メンバー企業	役割および担当業務
三菱HCキャピタル株式会社	統括管理、ファイナンシャル・アドバイザー業務
株式会社大建設、大成建設株式会社、株式会社ゆたか建築設計事務所	設計
大成建設株式会社、株式会社石井組	建設、解体
株式会社大建設、株式会社ゆたか建築設計事務所	工事監理
静岡ビル保養株式会社、ニュータウンビルサービス株式会社	維持管理
株式会社東京ドームスポーツ、株式会社東京ドーム、株式会社エイワンスポーツプラザ、株式会社SBSプロモーション	運営

■特別目的会社概要

社名	みんなのふじ株式会社
代表者	代表取締役 荒 健
所在地	静岡県富士市水戸島元町4番10号
設立年月日	2022年1月4日
事業概要	富士市総合体育館等整備・運営事業における整備業務、運営・維持管理業務、自由提案事業に係る業務
資本金	50百万円

■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルは、2021年4月1日、三菱UFJリース株式会社と日立キャピタル株式会社の統合により、誕生しました。三菱HCキャピタルグループは、「社会資本／ライフ」「環境・エネルギー」「モビリティ」「販売金融」「グローバルアセット」を注力領域としています。三菱HCキャピタルは、絶えず変化する社会やお客さまのニーズに応えるべく、地球環境に配慮し、独自性と進取性のある事業を展開することで、明るく希望に満ちた未来社会や豊かな暮らしの実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

TEL 03-6865-3002 (直通)

以上